

第六学年 年間指導計画

目標〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)

- (ア) 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。
- (イ) 目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くこと。
- (ウ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。

配当時間 30時間

9月		6月、7月		5月	4月			月	
単元名・(ページ)	時間	学習目標	学習活動	評価	単元名・(ページ)	時間	学習目標	学習活動	評価
硬筆に生かそう 文語詩	1	○漢字と仮名の大きさと つり合いに注意して書 くことができる。	○「椰子の実」の一節を音読する。 ○毛筆の筆使いを想起しながら手本文字を書く。	○漢字と仮名の大きさに注意して書いて いる。 ○行の中心に注意して書いている。 ○漢字と平仮名の字形の整え方を理解し て書いている。	一 穂先の動きと組み 立て方(かまえ) 「風」	2	○自分の課題を見つけて 練習する学習の進め方 を確かめることができる。	○一連の練習方法を知り、自学自習のための一つの手段として 確認する。	○「かぜがまえ」と、中の「虫」を、パ ランスを考えて書いている。 ○「そり」の筆使いができています。
四 文字の大きさと配 列 「実りの秋」	3	○漢字と仮名の大きさと つり合いに注意して書 くことができる。	○文字の大小、中心の通り方を確かめる。 ○既習の筆使いを想起しながら、「実りの秋」を書く。 ○硬筆に持ち替えて、毛筆の筆使いを想起しながら手本文字を 書く。	○「実」「秋」「り」の字形、文字の 大きさ、字配りを理解しようとしてい る。 ○漢字と仮名の大きさのつり合いに注意 して書いている。 ○行の中心や字配りに注意して書いてい る。 ○点画のつながりに注意して書いてい る。	二 点画のつながりと 組み立て(かし ら・たれ 「発展」	3	○穂先の動きを確かめ、漢 字の組み立て方に注 意して書くことので きる。	○筆脈と筆順、部首と部分の組み立て方を確かめる。 ○既習の筆使いにも注意して、「発展」を書く。 ○硬筆に持ち替えて、毛筆の筆使いを想起しながら手本文字を 書く。	○「かしら」の書き順や「たれ」の払い に注意して書いている。 ○「かしら」と「たれ」の組み立て方に 注意して字形を整えて書いている。
硬筆に生かそう 平がな	1	○平仮名には毛筆による筆脈が多く表れていることを確かめ る。 ○毛筆の筆使いを想起しながらいろいろは歌を書く。	○平仮名には毛筆による筆脈が多く表れていることを確かめ る。 ○毛筆の筆使いを想起しながらいろいろは歌を書く。	○漢字と仮名の大きさのつり合いに注意 して書いている。 ○行の中心や字配りに注意して書いてい る。 ○点画のつながりに注意して書いてい る。	三 点画のつながり 「思いやり」	3	○穂先の動きや点画のつ ながりを考えて書くこと ができる。	○穂先の動きと点画のつながりを確かめる。 ○筆脈に注意しながら「思いやり」を書く。	○漢字と仮名の大きさのつり合いに注意 して書いている。 ○行の中心や字配りに注意して書いてい る。 ○点画のつながりを考えて、筆使いに注 意して書いている。 ○「はね」「はらひ」の筆使いに注意して 書いている。
書いてみよう 小筆	1	○持ち方に注意し、毛筆の 筆使いを想起しながら、 字形に注意して書くこ とができる。	○小筆の使い方を確認する。 ○筆使い、字形や中心のとり方を確かめる。 ○自分の名前を小筆で書く。 ○字配りに注意しながら、小筆を用いて短歌・俳句を書く。	○行の中心や余白のとり方、字配りにつ いて理解している。 ○筆使いに注意して小筆で書いている。					

月	10、11月		2、3月				12月、1月										
月	10、11月		2、3月				12月、1月										
単元名・(ページ)	五 字配りと配列 「希望の春」		六 学習のまとめ 「創造」				七 書きぞめ 「夢の 実現」										
時間	2		3				4										
学習目標	○紙面における文字の配置に注意して書くことができる。		○筆使いと漢字の組み立てに注意し、紙面における文字の配置を考えて書くことができる。 ○六年の学習を生かして文字を書くことができる。				○穂先の動きや点画のつながり、漢字の組み立てや字配りに注意して書くことができる。										
学習活動	○余白の部分と字間のとり方を確かめる。 ○文字の大小にも注意して「希望の春」を書く		○連続写真を見て「しんよう」の筆使いを確かめる。 ○中心線を手がかりに、文字の組み立て方を確かめる。 ○既習の筆使いも想起しながら「創造」を書く。 ○硬筆に持ち替えて、毛筆の筆使いを想起し、組み立てを確かめながら手本文字を書く。				○書き初めを書くときの姿勢を知る。 ○文字の大小と字配り、中心のとり方を確認する。 ○その他、毛筆の既習事項を思い出して書く。										
評価	○漢字の筆順と点画のつながりに注意して書いている。 ○漢字と仮名の大きさに注意して書いている。 ○文字の大きさや字配りに注意して書いている。 ○穂先の動きと点画のつながりに注意して書いている。		○漢字の組み立て方がわかり、字形を整えて書いている。 ○「そり」「はね」「しんよう」などの筆使いに注意して書いている。 ○文字の大きさや中心・余白のとり方を考えて、字配りよく書いている。 ○文字の形や大きさ・組み立て方などに注意して書いている。 ○次につながる画を考えながら、穂先の向きに注意して書いている。 ○字間・行間のあけ方に注意して書いている。 ○筆使いに注意して小筆で書いている。				○表現の効果を考えて筆記具を選択し、書こうとしている。 ○行書の特徴に興味を持つようとしている。 ○文字文化をコミュニケーションツールとして捉え直そうとしている。										

※第六学年間指導時数30時間の内、28時間を配当。余りの2時間は、児童の習熟度に合わせた学習や、興味・関心を養う学習を行うなど予備時間として充当する。